

「のび太は、私自身なんです。」



FUJIKO・F・FUJIO WORLD  
ドラえもん誕生30年

夢は無限

# 藤子・F・不二雄 の世界展



©藤子プロ

1999年 6月4日(金) ▶ 7月4日(日)

高松市美術館 Takamatsu City Museum of Art  
〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 Tel 087-823-1711

開館時間:午前9時~午後5時(入室は午後4時30分まで) / 初日は午前10時開展式  
毎週金曜日は午後7時まで開館(入室は午後6時30分まで) / 休館日:月曜日

●主催:高松市美術館 ●企画制作:藤子プロ ●協力:小学館/テレビ朝日/シンエイ動画/アサツー ディ・ケイ/東宝/小学館プロダクション

●入場料:一般900円(720円) / 高大生500円(400円) / 小中生300円(240円) ※ ( )内は前売りおよび20名様以上の団体料金

※65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料 ※第2・第4土曜日は小・中・高生入場無料

描くぼくが楽しみ、読んでくれる人も楽しむ  
そんなまんががずっとぼくの理想なんだ。

藤子・F・不二雄



娘さんから  
プレゼントの  
恐竜ペン立て



高校生のとき  
作った反射幻灯機  
の複製と  
映し出す絵巻



『ドラえもん』『オバケのQ太郎』『パーマン』など、数々の国民的キャラクターを生み出した藤子・F・不二雄氏は、昭和26年17歳より、45年にわたって児童漫画を描き続け、常にその第一線で活躍しました。惜しくも平成8年に逝去するまで、漫画という夢を追い続け、その作品は、現在の子供たちだけでなく、かつて子供だった大人も含め、今なお圧倒的な支持を得ています。

本展は、児童漫画の新時代を築いた氏の歩みと彼が描き続けた世界を、原画や著作本、映像、写真、キャラクターグッズなど数多くの貴重な資料を通して振り返るものです。さらに、良き家庭人でもあった氏の家族とのふれあいの品々や、お気に入りのコレクション、愛用品なども展示し、素顔の藤子・F・不二雄氏を紹介します。

肉筆回覧誌  
「少太陽」  
(1950年創刊)



「ベンハー」  
(未発表作品)

FUJIKO・F・FUJIO WORLD  
ドラえもん誕生30年  
夢は無限

# 藤子・F・不二雄 の世界展

藤子プロホームページ <http://www.fujiko-pro.co.jp>



©藤子プロ



## ◆ギャラリートーク◆

当館学芸員が展示作品の解説をいたします。  
6月5日、6日、7月3日、4日 午後2時より2階展示室にて

## 高松市美術館 交通のご案内

JR四国一JR高松駅下車、南へ徒歩15分  
琴平電鉄一瓦町駅・片原町駅下車、徒歩10分  
バス路線一紺屋町バス停下車、徒歩3分  
駐車場一美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)

●高松市美術館へのお問い合わせ  
香川県高松市紺屋町10-4 Tel 087-823-1711

## 次回展覧会

少女まんがの世界展 7月30日(金) - 9月5日(日)